年　　組（　　　）名前

サイン

◆年をあらわす動物を干支といいます。来年の干支の動物の形をした土鈴（土を固めてできる鈴）が、たくさん作られています。

【１】来年は何どしですか。しゃしんをみてこたえましょう。

【２】あなたは何どし生まれですか。

【３】しゃしんの人たちは、何をしていますか。

【４】あなたのかぞくは何どしですか。知っているだけでいいので書いてみましょう。

くる年は　さる年

来年の干支の「申」の土鈴作りが東京都調布市の「むさし野深大寺窯」でピークを迎えている。

同窯は深大寺の参道にあり、従業員たちが、子を抱くサルをデザインした高さ7㌢ほどの土鈴に、筆で一つ一つ丁寧に顔を描き、体に色を塗る作業を続けていた＝写真、上甲鉄撮影＝。

同窯の3代目・馬場良太郎さん（41）は「土鈴には魔よけの意味があります。手にした人に良い1年が訪れるよう思いを込めて作っています」と話した。

年末までに約8000個を製作するという。

（2015年10月21日 読売新聞夕刊より）

©The Yomiuri Shimbun

体育「子どものスポーツ」

年　　組（　　　）名前

サイン

◆子どもがしているスポーツの中で、いちばん多いのは水泳だという調査(ちょうさ)結果(けっか)が出ました。2番目は男子がサッカーで、女子はテニスとダンスがならびました。小学校2年では約3割の子どもが水泳をしているそうです。

（2015年10月20日　読売新聞朝刊より）

子どものスポーツ 最多は水泳17%

バンダイがネット調査

子どもがしているスポーツについて、大手玩具メーカーのバンダイ（東京）が調査したところ、最も多かったのは男女ともに水泳だった。6割以上が、体育の授業以外でスポーツをしていた。

調査は9月4～6日、全国の小学2年、5年、中学2年の子ども840人とその親を対象に、インターネットを通じて行った。

体育の授業以外で、スポーツ（部活動も含む）をしている子どもは65%（男子73%、女子58%）。行っているスポーツは、水泳（17%）、サッカー（9%）、「テニス」（6%）、「野球」（4%）、「バスケットボール」（3%）の順だった。男子は、水泳と2位のサッカーが僅差だったのに対し、女子は1位の水泳が、2位に並んだテニスとダンスに大差をつけている。

水泳をしている子どもの割合は低年齢ほど高く、小学2年で29%、中学2年では3%だった。また、スポーツをさせる理由を「体力づくり」と答えた親が、水泳では7割を超えた。バンダイ広報は「他のスポーツは『友人がやっている』などの理由でさせる親が多いが、水泳をさせる動機の大部分は『体力づくり』。小さいうちに体力を付けさせたいと考える親が多いようです」としている。

子どものスポーツにかける費用は、年平均で約5万5000円だった。

【1】この調査はだれにどのようにして行ったものですか。下の□をうめましょう。

おもちゃメーカーが、全国の小学□年と□年、中学□年の子ども□人とその親に対して□を使って行った。

【2】水泳は、どのくらいの割合(わりあい)の子どもがしていますか。記事の中から見つけましょう。

全体では　　　　%

小学2年では　　　　%

中学2年では　　　　%

【3】あなたがしているスポーツ、これからしたいスポーツをあげ、理由(りゆう)を下に書きましょう。

▼ スポーツの名まえ ▼

▼ している（したい）理由(りゆう) ▼

©The Yomiuri Shimbun

読売ワークシート通信
2015年 10月 28日（水）

社会「ミラノ万博　大人気の日本館」

年　　組（　　　）名前

サイン

◆イタリア北部のミラノで「食」をテーマにミラノ万博が開かれています。そこで、日本の伝統的な食文化を紹介する「日本館」が大人気で、入館するために8時間も待つこともあるそうです。

（2015年10月22日　読売新聞朝刊より）

「日本館」8時間待ち

来場200万人突破

ミラノ万博 和食紹介で盛況

【ローマ＝青木佐知子】イタリア北部ミラノで「食」をテーマに開かれているミラノ万博で、日本の伝統的な食文化を紹介する「日本館」が大盛況だ。ふだんは行列が苦手とされるイタリア人が8時間も並ぶことがあり、伊メディアは「最も人気のある展示館で、入場は『かなわぬ夢』だ」などと報じている。

約150の国と地域、国際機関が参加するミラノ万博では、10月末の閉幕を目前に「駆け込み」の入場者が急増している。5月に万博が開幕してからの日本館の来場者数は19日に200万人を突破した。来場者のおよそ1割が日本館を訪れた計算になる。

21日、「日本館」に入場するため長い列をつくる人たち（伊北部ミラノで）

日本館は「一汁三菜」などの伝統的な食文化や日本の農村風景などを、映像やデジタル技術を駆使して紹介している。約50分の「食を巡る旅」として、グループごとに案内するため、1日に約2万人しか入場できない。

同館担当者は「お箸でタッチスクリーンを操作し、自分用の和食の献立をつくるなど体験型の展示が人気だ」と話す。

開幕以来、日本館の行列は評判となっており、6月の2時間待ちが、9月には6時間にまで伸びた。万博全体の入場者数も今月10日に1日あたりで最多の27万2785人を記録し、総入場者数が1900万人を超えた。

【１】ミラノ万博が５月に開幕してから、入場者数は全体でどのくらいでしょうか。うち、日本館を訪れた人はどのくらいでしょうか。

▼総入場者数＝□□□□万人超

▼日本館＝□□□万人突破

【２】日本館の行列待ちは評判になっているそうです。入館待ち時間は６月、９月、１０月とどのように変わったでしょうか。

【３】日本館はどのような展示をして、人気を集めていますか。

【４】和食のほか、ラグビーやノーベル賞など、日本に世界の注目が集まることが多くなっています。どんな理由からだと思いますか。裏に書き出してみましょう。

【発展学習】日本で初めて開かれた万博は１９７０年の「大阪万博」です。そのほか、どんな万博を知っていますか。

©The Yomiuri Shimbun

社会「曳屋（ひきや）」

年　　組（　　　）名前

サイン

◆小学校新聞部の「いろは」と「あらた」が話題になった言葉を取り上げて語り合うシリーズです。今回は「曳屋（ひきや）」です。

【1】「ひきや」を書いてみましょう。

【2】曳屋とは、どういう作業のことですか。

【3】どういう理由で、弘前城の天守を移動させているのですか。

【4】曳屋の伝統技術を守るために、どうしたらいいと思いますか。

【曳屋（ひきや）】

建物（たてもの）を解体（かいたい）せずに移動（いどう）

いろは　青森県弘前市（ひろさきし）にある弘前城（ひろさきじょう）の天守（てんしゅ）が、そのまま建物（たてもの）ごと引っ越ししたと聞きました。本当にそんなことできるの？

あらた　本当さ。建物（たてもの）を解体（かいたい）せず、別（べつ）の場所に移動（いどう）させる「曳屋（ひきや）」と呼ばれる作業（さぎょう）を行っているんだ。曳屋（ひきや）は「曳家（ひきや）」とも書くね。

いろは　曳屋（ひきや）はどういう時に行われるの？

あらた　道路の幅（はば）を広げるため、建物（たてもの）の位置をずらしたい時などに行う。家やビルなど、様々なものを動かせるんだよ。弘前城（ひろさきじょう）の場合は、天守（てんしゅ）の下の石垣（いしがき）を修理（しゅうり）するために行われている。天守（てんしゅ）を元の場所から約（やく）70㍍動かし、修理（しゅうり）後の2021年頃（ごろ）に元の場所に戻（もど）す予定だ。

いろは　どうやって動かしたのかしら。

あらた　天守（てんしゅ）は3階建（だ）てで、高さ約（やく）14㍍、重さ約（やく）400㌧もある。これをジャッキで持ち上げて台車に載（の）せ、レールの上を少しずつ移動（いどう）させた。8月中旬（ちゅうじゅん）から作業が始まると、物珍（ものめずら）しさもあって観光客（かんこうきゃく）が増え、にぎわったそうだよ。今月17日に移動（いどう）は完了（かんりょう）し、後は天守（てんしゅ）を仮天守台（かりてんしゅだい）におろす作業（さぎょう）を待つばかりだ。

いろは　重い建物（たてもの）を壊（こわ）さず、そのまま運べるなんて、すごいね。

あらた　古い建物（たてもの）を守っていく上で、曳屋（ひきや）は大切な伝統技術（でんとうぎじゅつ）だと思うよ。

弘前城の天守を綱で引いて曳屋を体験した市民ら（9月20日）

（2015年10月21日　読売新聞朝刊より）

©The Yomiuri Shimbun

年　　組（　　）名前

サイン

新聞記事で日本一周！

手元に新聞を用意して取り組みましょう。

月　日付

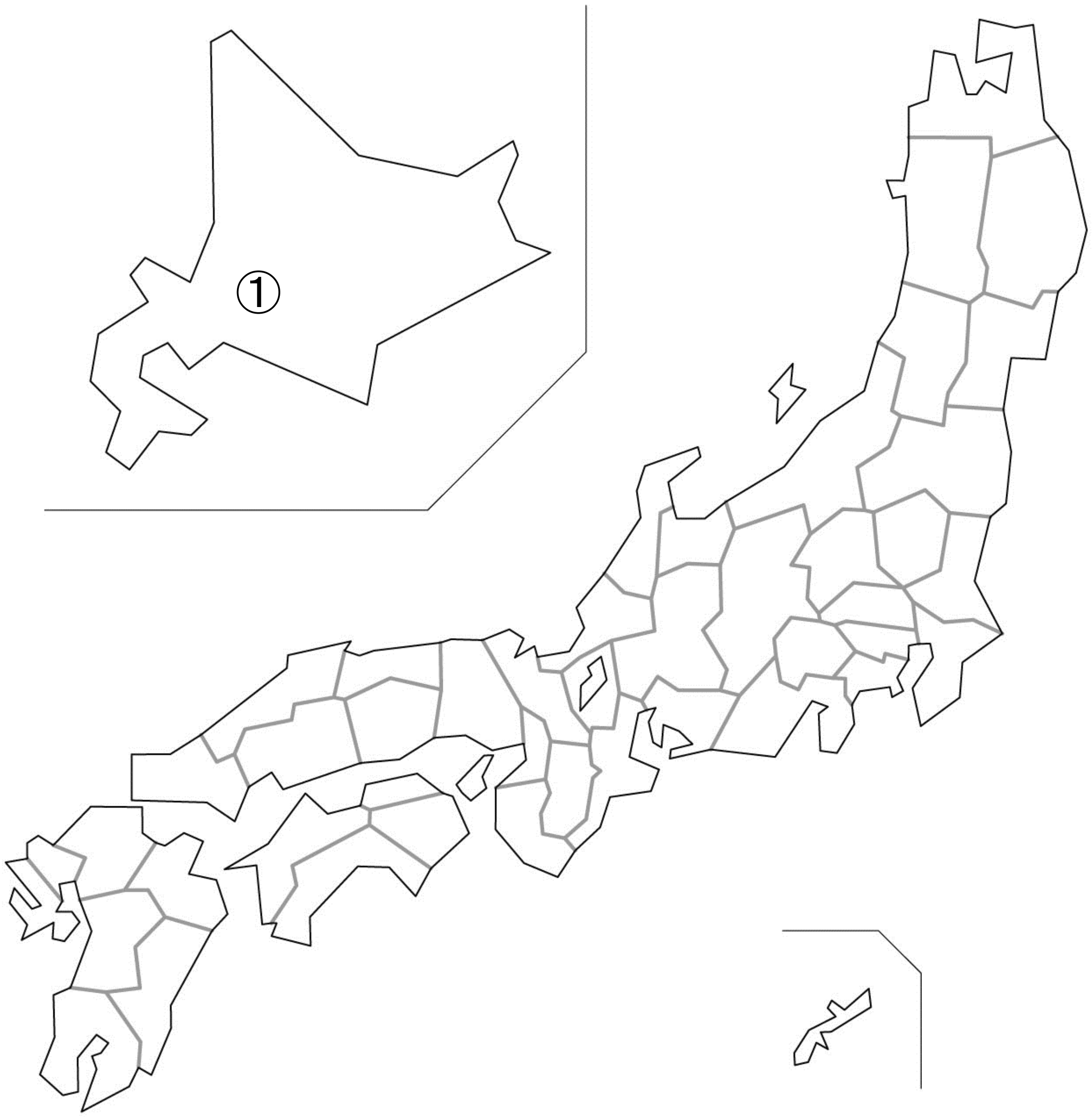
新聞（朝刊・夕刊）

面

◆新聞には、たくさんの地名が出てきます。なるべく、たくさん探してみましょう。新聞で日本一周をめざしてください。

新聞から、たくさんの市町村の名前を見つけて、書き出してみましょう。また、その市町村がある都道府県をさがして、例のように番号を下の白地図に書きこみましょう。

①	札幌市
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	
⑬	
⑭	
⑮	



©The Yomiuri Shimbun

主権者
教育セミナー
参加者募集

選挙権年齢を18歳以上に引き下げる公職選挙法が
来年夏の参院選から適用され、高校生の有権者が誕生します。
高校はもとより小中学校でも政治参加を促す教育が重要になります。
生徒・児童を社会参画へ導く主権者教育のあり方を、
参加者の皆様とともに考えます。
セミナーでは、シティズンシップ教育の海外事情を紹介し、
国内で行われている先進的な主権者教育の模擬授業を
参加者に体験・見学していただきます。
また、副教材や政治的中立性などに関する
文部科学省担当者による解説も
予定しています。

2015.11.29 SUN 13:00〜16:00

講　演　「シティズンシップ教育の意義と海外事例など」　小玉 重夫（東京大学教育学部教授）
「副教材の狙いと政治的中立性などに関する新通知の解説」　合田 哲雄（文部科学省教育課程課長）

模擬授業　「玉川学園で実践している主権者教育の模擬授業」　硤合 宗隆（玉川学園教諭）

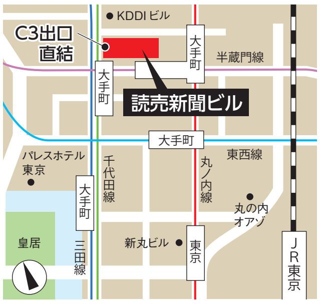
小玉 重夫　こだま・しげお
1960年生まれ。東大法学部政治コース卒、同大学院教育学研究科博士課程修了。お茶の水女子大大学院人間文化創成科学研究科教授などを経て、東大大学院教育学研究科教授。専門は、教育哲学、アメリカ教育思想、戦後日本の教育思想史。シティズンシップ教育の思想と歴史を研究し、総務省によって設置された「常時啓発事業のあり方等研究会」の委員として18 歳選挙権実現に尽力した。

硤合 宗隆　そあい・むねたか
1971年生まれ。玉川大卒、玉川学園勤務。カナダ・トロント大オンタリオ教育研究所教育学修士。2003年衆院選から授業で未成年模擬選挙を実施。2008年米大統領模擬選挙視察。2011年「つながる、つなげる模擬選挙」の実践で第6回マニフェスト大賞優秀マニフェスト推進賞を団体受賞。町田市明推協委員。未来を拓く模擬選挙編集委員会「実践シティズンシップ教育　未来を拓く模擬選挙」（悠光堂）などで活動を紹介。

◆場　　所　東京都千代田区大手町1-7-1 読売新聞東京本社内会議室
◆対　　象　教育関係者および関心のある参加希望者　◆参加費　無料
◆申込方法　はがきに①〜⑥を記入し、下記へ郵送してください。

> ①氏名（ふりがな） ②年齢 ③郵便番号 ④住所 ⑤電話番号（日中連絡可能） ⑥勤務先名称
> 宛先：〒100-8055 読売教育ネットワーク事務局 「主権者教育セミナー」係

◆締め切り　11月6日（消印有効）。申し込み多数の場合は抽選。
参加いただく方には、聴講券としてはがきを送ります。セミナー当日お持ちください。



次回以降のセミナー予定
2016年1月24日（日）◆「主権者教育セミナー」
2月27日（土）◆「主権者教育をテーマにした新聞活用教育（NIE）セミナー」

詳細は読売新聞紙上とウェブサイトで
http://kyoiku.yomiuri.co.jp/

お問い合わせ　読売新聞東京本社 教育ネットワーク事務局　☎03-3217-1967（平日午前10時〜午後5時）

読売新聞